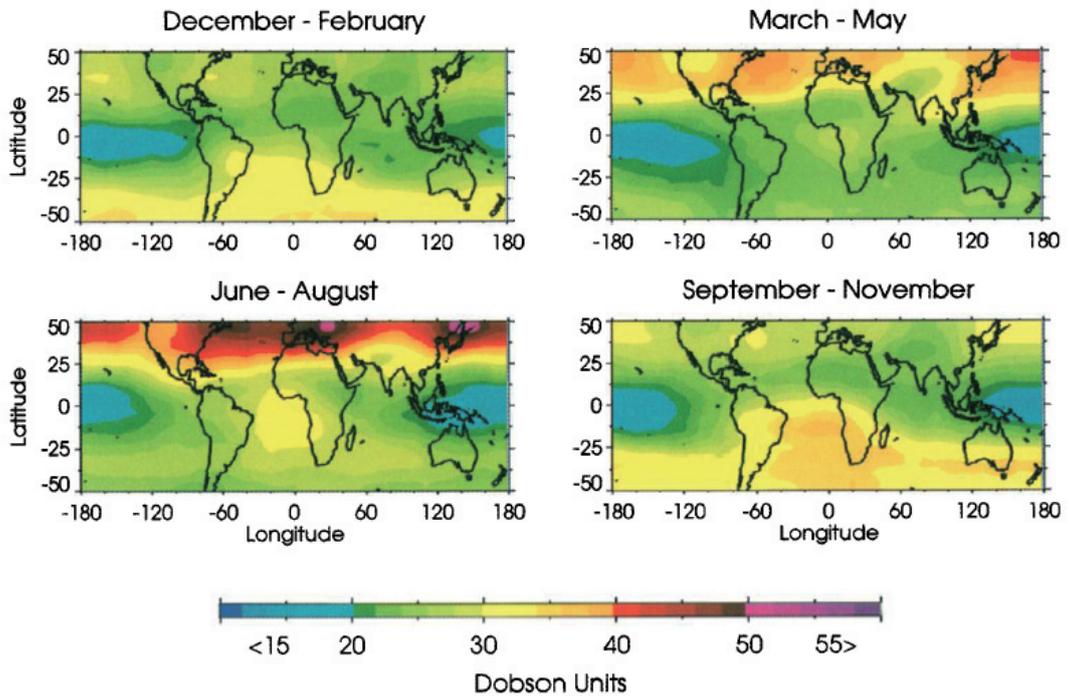


東アジア地域におけるオゾン越境汚染シミュレーション図（2007年5月7～9日）
（大原ら, 2008）



衛星観測による季節別オゾン全球分布図（Fishman, Jら, 1997）

はじめに

酸性雨については、1960年代に欧米において湖沼の酸性化及び森林被害が国際問題となり、1970年代には我が国においても湿性大気汚染が問題となりました。このため、環境省（庁）では、我が国における酸性沈着の状況やその影響を把握し、悪影響の未然防止を目的として、昭和58年度から酸性雨対策調査を実施しました。また、広域的かつ長期的な酸性雨モニタリングを継続的に実施するため、平成14年3月に「酸性雨長期モニタリング計画」を策定し、15年度からは同計画に基づき、湿性・乾性沈着モニタリング、湖沼等を対象とした陸水モニタリング、土壌・植生モニタリングを地方公共団体の協力を得て実施しています。

本報告書は、平成15年度から19年度に実施した長期モニタリングの結果に加え、これまでの調査結果から、周辺土壌等の酸性化が認められる岐阜県伊自良湖集水域において17年度から19年度に実施した重点調査結果を中心にとりまとめたものです。また、近年、光化学オキシダント注意報発令地域の広域化やその濃度の漸増傾向の一因として、アジア大陸からの越境汚染が指摘されるなど、酸性雨のみならず、オゾンやエアロゾルも含む越境大気汚染問題への懸念が高まっていることから、シミュレーションモデルによる計算結果など既存の研究結果をレビューし、調査結果と併せて我が国への越境大気汚染の状況を検討しました。

本報告書は、環境省に設置した酸性雨対策検討会並びにその分科会である大気分科会及び生態影響分科会における検討結果をとりまとめたものです。また、とりまとめ作業にあたっては、酸性雨研究センターにおいて関連データの整理、解析を行うとともに、同センターに4つのワーキンググループ（酸性沈着解析、生態影響解析、伊自良湖重点調査、越境大気汚染）を設置して調査結果の解析評価を行いました。この場を借りて、本モニタリングの実施及びとりまとめにご協力いただいた関係者各位に深く感謝の意を表する次第です。

平成21年3月
環境省地球環境局

酸性雨対策検討会 名簿

座長	秋元 肇	海洋研究開発機構地球環境フロンティア研究センター 大気組成変動予測研究プログラムディレクター
	植田 洋匡	財団法人日本環境衛生センター酸性雨研究センター所長
	太田 誠一**	京都大学大学院農学研究科教授
	小倉 紀雄	東京農工大学名誉教授
	小田 孝**	全国環境研協議会酸性雨調査研究部会長 (高知県環境研究センター所長)
	加藤 久和	名古屋大学名誉教授
	後藤 良三**	社団法人日本環境技術協会酸性雨部会長 (東亜ディーケーケー株式会社)
	佐竹 研一	立正大学地球環境科学部環境システム学科教授
	土器屋 由紀子	江戸川大学社会学部ライフデザイン学科教授
	戸塚 績	財団法人日本環境衛生センター酸性雨研究センター技術顧問
	戸矢崎 保雄*	社団法人日本環境技術協会酸性雨部会長 (紀本電子工業株式会社)
	袴田 共之	浜松ホトニクス株式会社顧問
	原 宏	東京農工大学農学部教授
	久武 正義*	全国環境研協議会酸性雨調査研究部会長 (高知県環境研究センター所長)

堀井 一雄** 新潟県県民生活・環境部副部長

村野 健太郎 法政大学生命科学部環境応用化学科教授

山本 進一* 新潟県県民生活・環境部副部長

* 平成 19 年度のみ参画

** 平成 20 年度のみ参画

酸性雨対策検討会・大気分科会 名簿

座長	原 宏	東京農工大学農学部教授
	青木 正敏*	東京農工大学大学院共生科学技術研究院教授
	植松 光夫	東京大学海洋研究所 附属海洋科学国際共同研究センター長・教授
	鶴野 伊津志	九州大学応用力学研究所教授
	大泉 毅	新潟県保健環境科学研究所大気科学科専門研究員
	後藤 良三*	社団法人日本環境技術協会酸性雨部会副部会長 (東亜ディーケーケー株式会社)
	清水 英幸	国立環境研究所アジア自然共生研究グループ主席研究員
	田中 茂	慶應義塾大学理工学部応用化学科教授
	土器屋 由紀子	江戸川大学社会学部ライフデザイン学科教授
	畠山 史郎	東京農工大学大学院共生科学技術研究院教授
	藤田 慎一	財団法人電力中央研究所環境科学研究所研究参事
	松田 和秀	明星大学理工学部環境システム学科准教授
	村野 健太郎	法政大学生命科学部環境応用化学科教授
	李 虎**	社団法人日本環境技術協会酸性雨部会副部会長 (株式会社堀場製作所)

* 平成 19 年度のみ参画

** 平成 20 年度のみ参画

酸性雨対策検討会・生態影響分科会 名簿

座長	小倉 紀雄	東京農工大学名誉教授
	池田 重人	森林総合研究所立地環境研究領域チーム長 (環境モニタリング担当)
	伊豆田 猛	東京農工大学大学院共生科学技術研究院教授
	井上 隆信	豊橋技術科学大学建設工学系教授
	海老瀬 潜一	摂南大学工学部都市環境システム工学科教授
	太田 誠一	京都大学大学院農学研究科教授
	清水 英幸	国立環境研究所アジア自然共生研究グループ主席研究員
	新藤 純子	農業環境技術研究所物質循環研究領域上席研究員
	須田 隆一	福岡県保健環境研究所専門研究員
	高松 武次郎	茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター長・教授
	戸塚 績	財団法人日本環境衛生センター酸性雨研究センター技術顧問
	中島 拓男	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター専門研究員
	袴田 共之	浜松ホトニクス株式会社顧問
	福原 晴夫	新潟大学教育学部教授

酸性雨長期モニタリング調査結果とりまとめワーキンググループ 名簿

1. 越境大気汚染ワーキンググループ（敬称略）

- 秋元 肇 （海洋研究開発機構地球環境フロンティア研究センター
大気組成変動予測研究プログラムディレクター）
- 鵜野 伊津志（九州大学応用力学研究所教授）
- 大原 利眞（国立環境研究所アジア自然共生研究グループ
広域大気モデリング研究室長）
- 畠山 史郎（東京農工大学大学院共生科学技術研究院教授）
- 原 宏（東京農工大学農学部教授）
- 山地 一代（海洋研究開発機構地球環境フロンティア研究センター
大気組成変動予測研究プログラム研究員）

2. 酸性沈着解析ワーキンググループ（敬称略）

- 原 宏（東京農工大学農学部教授）
- 藍川 昌秀（兵庫県立健康環境科学研究所大気環境部主任研究員）
- 大泉 毅（新潟県保健環境科学研究所大気科学科専門研究員）
- 高見 昭憲（国立環境研究所アジア自然共生研究グループ
アジア広域大気研究室長）
- 友寄 喜貴（沖縄県衛生環境研究所環境科学班主任研究員）
- 野口 泉（北海道環境科学研究所環境科学部環境科学科長）
- 林 健太郎（農業環境技術研究所物質循環研究領域主任研究員）
- 松田 和秀（明星大学理工学部環境システム学科准教授）

3. 生態影響解析ワーキンググループ（敬称略）

- 小倉 紀雄（東京農工大学名誉教授）
- 池田 重人（森林総合研究所立地環境研究領域チーム長）
- 新藤 純子（農業環境技術研究所物質循環研究領域上席研究員）
- 高松 武次郎（茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター長・教授）
- 袴田 共之（浜松ホトニクス株式会社顧問）
- 福原 晴夫（新潟大学教育学部教授）
- 山田 俊郎（国立保健医療科学院水道工学部主任研究官）

4. 伊自良湖重点調査ワーキンググループ（敬称略）

- 袴田 共之（浜松ホトニクス株式会社顧問）
- 井上 隆信（豊橋技術科学大学建設工学系教授）
- 角田 寛（岐阜県保健環境研究所衛生環境技術指導員）
- 高橋 正通（森林総合研究所立地環境研究領域長）
- 中原 治（北海道大学大学院農学研究科准教授）
- 松田 和秀（明星大学理工学部環境システム学科准教授）

※ _____：座長

(酸性雨研究センター担当者)

副所長	世一 良幸 (平成 19 年 6 月まで)
	新田 晃 (平成 19 年 7 月から)
情報管理部	仲山 伸次
	桜井 達也 (平成 20 年 3 月まで)
	佐藤 啓市 (平成 20 年 4 月から)
大気圏研究部	家合 浩明
	谷口 博和
	遠藤 朋美
生態影響研究部	佐瀬 裕之
	上迫 正人 (平成 20 年 3 月まで)
	松原 裕樹 (平成 20 年 3 月まで)
	小林 亮 (平成 20 年 4 月から)